

アナログプレイヤーの比較試聴(13)

—モーツアルトを聴く(13)—

1. 始めに

前報(12)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回は管楽アンサンブル of 曲です。

ドイツグラモフォン MG-2313

モーツアルト セレナーデ第10番変ロ長調

(13管楽器のためのセレナーデ)

カール・ベーム指揮ベルリンフィル管楽アンサンブル

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由 of LINN LP-12 と Grrad401 では、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorenTD124 の再生では、このセレナーデ第10番は、オーボエ2、クラリネット2、バセットホルン2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4 of 構成ですが、これらの管楽器 of 音が豊かに響きわたります。

LINN LP-12 の再生では、13器 of 管楽器 of 個々の楽器 of ニュアンスが把握でき、柔らかい音色がよく響いています。

Grrad401 の再生では、ThorenTD124 と LINN LP-12 の中間 of ような音です。

4. まとめ

3機種3様 of 再生パフォーマンスが確認できましたが、これまでにない豊かな響きと柔らかい音色 of 演奏が聴き取れます。

以上